

美術研究

自第二百六十三号
至第二百六十八号

昭和四十四年度
昭和四十四年度
第一册
第六册

総目次

論 説

四天王彫像

——十世紀の基準作例を中心とする形制の考察——上

猪川 和子

二五 一

聖エラスムスとエラスムス像 下

坂本 満

二五 九

皇居杉戸絵について

荻原守衛(中) 一

——その生涯と芸術——

関 千代

二五 四

司馬江漢創製の腐蝕銅版画技法の原典について

上

菅 野 陽

二五 八

四天王彫像

——十世紀の基準作例を中心とする形制の考察——下

猪川 和子

二五 一〇

永久寺真言堂障子絵色紙形下より出現の鷹図について

柳 沢 孝

二六 二九

司馬江漢創製の腐蝕銅版画技法の原典について

下

菅 野 陽

二六 二七

荻原守衛(中) 二

——その生涯と芸術——

中村 伝三郎

二六 一四

桃山・江戸前・中期の産衣十三領について 上

神谷 栄子

二六 一三

中国初期金銅仏の一考察

——近世小裁・中裁衣類調査報告一——

松原 三郎

二六 一〇

——特に新資料の二体を中心として——

江上 綏

二六 二三

本願寺本三十六人集表紙絵の復元と考察

図 版 解 説

善導寺蔵 地藏菩薩画像

熊谷 宣夫

二六 二六

日吉神社の千手観音像及び菩薩立像

久野 健

二六 二〇

研 究 資 料

住吉広行筆 春冬堂上放鷹之図屏風下絵及び

「朝鮮信使来聘一件書類」

加藤 秀幸

二七 二九

所 報

研究会(昭和43年3月~44年3月)

美術部研究員海外出張

東京国立文化財研究所美術部(美術研究所)所員異動

第三回東京国立文化財研究所美術部公開学術講座の開催

「日本東洋古美術文献目録」の刊行

「日本美術年鑑」の刊行

研究会(昭和44年6月~11月)

図 版 (◎は原色版 *印アート網目版)

絵 画

◎野口幽谷筆 菊花ニ鶏

宮内庁蔵

二四

*瀧 和亭筆 蘆 雁

同

二四

*同 蓮 鷺

同

二四

*渡辺小華筆 朝 顔

同

二四

*大庭学僊筆 花 菖 蒲

同

二四

*沼田荷舟筆 鶉 野 菊

同

二四

*同 桔 梗 花

同

二四

*原 在泉筆 兔

同

二四

*鶴沢守保筆 承 和 楽

同

二四

*山崎董詮筆 萱 花 同 三六

*久保田米僊筆 柘榴金衣百子 同 三六

◎司馬江漢筆 三囲之景 山形 本間美術館 蔵 三五

*強水を流す方法図 (ボス 銅版画技法書挿図) 東京 菅野 陽 氏蔵 三五

*側面からみたプレス図 (同) 同 三五

*地藏菩薩画像 福岡 善 導 寺 蔵 三五

*同 部分 同 三五

◎鷹図 宗弘筆善無畏金粟王塔下感得図 大阪 藤田美術館 蔵 三六

部分 (同図色紙形下より出現) 拡大二・五倍

*鷹と鶴 同 同 三六

*鷹と霞 同 (X線写真) 原寸 同 三六

*住吉広行筆 春冬堂上放鷹之図屏風下絵 部分 東京 早稲田大学図書館蔵 三七

◎本願寺本三十六人集兼盛集表紙・忠見集裏表紙 (当初の兼盛集表紙) 京都 本願寺 蔵 三六

*同 兼盛集表紙・忠見集裏表紙 (当初の兼盛集表紙) a X線写真 b 同修正写真 同 三六

*同 貫之集上表紙 a X線写真 b 同修正写真 同 三六

*同 信明集表紙 a X線写真 b 同修正写真 同 三六

*同 元輔集表紙 a X線写真 b 同修正写真 同 三六

*同 公忠集表紙 a X線写真 b 同修正写真 同 三六

彫 刻

◎四天王像 広目天 京都 浄瑠璃寺 蔵 三三

*同 増長・広目・多聞天 京都 六波羅蜜寺 蔵 三三

*同 広目天 同 三三

*同 増長天 滋賀 善 水 寺 蔵 三三

*同 持国・増長・広目・多聞天 兵庫 円 教 寺 蔵 三三

*同 増長・多聞天 島根 万 福 寺 蔵 三三

*同 持国・増長・広目・多聞天 滋賀 延暦寺 蔵 三三

*同 多聞天 部分 京都 浄瑠璃寺 蔵 三三

*同 増長天 部分 同 三三

*同 持国・増長・広目・多聞天 兵庫 大 乗 寺 蔵 三三

*千手観音立像 滋賀 日吉神社 蔵 三六

*同 頭部 同 三六

*菩薩立像 同 三六

*金銅仏坐像 正面 側面 背面 某 氏蔵 三七

*金銅仏坐像 正面 背面 某 氏蔵 三七

工 芸

◎伝毛利秀就所用段織綾産衣 背面 防府 毛利博物館 蔵 三七

*伝毛利秀就所用段織綾産衣 同 三七

*徳川二代将軍秀忠所用紫麻産衣 東京 増上寺徳川将軍家墓地発掘調査団預 蔵 三七

*徳川二代将軍秀忠所用紫麻産衣 背面 同 三七

*伝毛利秀就所用緋絹産衣 防府 毛利博物館 蔵 三七

*伝毛利秀就所用紅紬産衣 同 三七

挿 図

絵 画

マサイス作 エラスムス像 三三

同 ヒレス像 三三

作者不詳 「格言集 (エラスムス著)」扉 三三

ホプファー作 銅版画 エラスムス像 三三

デュラー作 デッサン エラスムス像 三三

デュラー作 銅版画 エラスムス像 三三

ホルバイン (子) 作 エラスムス像 三三

[illegible]

同	枯木ニ木兎	三六	容	鍍板之具〔紅毛雑話〕	三六
同	女郎花	三六	容	同 (シヨメール第五巻図版D)	三六
同	杉白狐	三六	容	鉄砲疎(シヨメール第七巻図版第七五)	三七
同	螢	三六	容	蒸溜装置図〔長崎聞見録〕卷之五)	三八
狩野昭信筆	枇杷	三六	容	プレス図〔西洋画談〕	三九
荒木寛畝筆	黄蜀葵	三六	容	同 (ボイス第六巻図版第一三六)	三九
吉沢雪庵筆	芭蕉	三六	容	司馬江漢作 天球全図	三九
田崎草雲筆	鴨	三六	容	オルレレイ(ボイス第八巻図版第一九三)	四〇
同	梧桐	三六	容	司馬江漢作 聴音機引札	四〇
同	葡萄	三六	容	聴音機(ボイス第四巻図版第八九)	四一
同	若竹	三六	容	地蔵菩薩像	四一
同	榎	三六	容	善無畏金粟王塔下感得図	四一
幸野棟嶺筆	山吹(全図)	三六	容	同 色紙形	四一
同	芍薬(全図)	三六	容	同 色紙形下より出現の鷹図	四一
狩野守貴筆	瀬田夕照	三六	容	春日権現験記絵第三巻第二段 知足院藤原忠実邸障子絵	四二
同	三井晚鐘	三六	容	竜猛南天鉄塔相承図	四二
同	唐崎夜雨	三六	容	エッチング製版に必要な道具五種(A・ボスの銅版画技法書より)	四二
同	矢橋婦帆	三六	容	クレヨン技法の道具とつくり方(デイドロ百科全書「版画」第八図)	四二
荒木寛畝筆	玉蘭小禽	三六	容	住吉広行筆 春冬堂上放鷹之図下絵 端裏書 東京 早稲田大学図書館蔵	四二
同	雉子ニ春草	三六	容	同 春冬堂上放鷹之図屏風 春之部 下絵 同	四二
同	粟津晴嵐	三六	容	鷹狩図屏風	四二
同	堅田落雁	三六	容	順集表表紙破損部分	四二
狩野守貴筆	比良暮雪	三六	容	家持集表表紙部分	四二
守住貫魚筆	機織	三六	容	頼基集表表紙部分(X線写真から修正により見返の文様を消去)	四二
同	棕栢	三六	容	能宣集下表表紙部分(同)	四二
鈴木百年筆	鳩護枝	三六	容	能宣集上表表紙部分(同)	四二
同	震威八荒	三六	容	興風集表表紙部分(同)	四二
田能村小虎筆	一鷺功名(全図)	三六	容	能宣集下 第24紙 X線写真	四二
同	鶏群鶴立(全図)	三六	容	能宣集下 第24紙見開き面	四二
観目鏡引札		三六	容	貫之集上 第10紙 X線写真	四二

[illegible]

視目鏡		神戸市立南蛮美術館蔵	三六	八三
徳川二代将軍秀忠産衣の納入されていた漆塗手箱			三六	一六九
徳川秀忠産衣(1) 実測図			三六	一七〇
徳川秀忠産衣 部分			三六	一七一
徳川秀忠産衣 背面守縫実測図			三六	一七二
伝毛利秀就段織綾産衣(2) 下前			三六	一七三
実測図			三六	一七四
同	部分(菊唐草にちきり文)		三六	一七五
同	部分(格子に向い鶴の丸文)		三六	一七六
同	表裂の段構成見取図		三六	一七七
伝毛利秀就緋絹産衣(3)	背面		三六	一七八
同	実測図		三六	一七九
伝毛利秀就紅紬産衣(4)	背面		三六	一八〇
同	下前		三六	一八一
同	実測図		三六	一八二

文書・書

「おらんだ俗話」		神戸市立南蛮美術館蔵	三五	三
善無畏金粟王塔下感得図 色紙形(定信銘文)		大阪 藤田美術館蔵	三六	三三
印紙「一銭」(南天鉄塔図下貼りより発見)	同		三六	三三
江漢の書翰		神戸市立南蛮美術館蔵	三六	一四〇
寛永17年の目録「かせん集古本覚」 部分			三六	三三
同	奥書を切取った部分		三六	三三
飛鳥井雅章書写本と本願寺本三十六人集の題簽の比較例			三六	三四
近衛前久筆「詠二十首和歌」部分		京都 曼殊院蔵	三六	三四
本願寺本三十六人集の奥の貼紙の例			三六	三六